

ポリオレフィンの技術、市場、産業、環境を総合的に考える

ページ

序	筒井 俊之	
展望	ポリオレフィン発泡体の省エネルギー貢献と医療用途	谷口 正俊 1
第1部	産業論	
	ポリオレフィンの需給動向レビュー(2010/9まで)	郷 茂夫 10
	石油化学と税制	田島 慶三 16
	日本のPOの輸出入国別の単価から製品の特徴を探る -POの内需構造の変化と最終関税後の輸出入動向について-	小柳津英知 20
	文部科学省『科学技術動向』に見る石油化学技術の位置付け	小林 俊哉 28
研究会メッセージ		36
第2部	環境と循環	
	温暖化対策へのプラスチックの貢献 -プラスチックの使用はCO ₂ 排出削減に多大な貢献をしている-	勝浦 嗣夫 38
	植物由来ポリエチレンについて	佐藤 慎一 42
	化学発光法によるポリオレフィンの安定性評価について(2)	山田 理恵、佐藤 哲 47
	易光分解性ポリプロピレンの開発	宮崎 健輔、中谷 久之 51
第3部	重合触媒	
	化学反応の素過程を第一原理計算によって解明する : 方法の概略と具体例	寺倉 清之 58
	MgCl ₂ 担持型 Ziegler-Natta 触媒の表面欠陥構造と 高性能活性点に関する密度汎関数計算	谷池 俊明、寺野 稔 63
	エチレンの選択的オリゴメリゼーションによる α -オレフィン合成触媒: 触媒開発と反応機構	真島 和志 73
	強磁場固体NMRによるチーグラ-ナッタ触媒の 構造解析II	齋藤 雅由、藤田 孝 清水 禎、出口 健三 中井 利仁、内海 博明 76
	1-アルケンのアルキル鎖長が重合速度におよぼす影響 -架橋フルオレニルアミドジメチルチタン触媒の場合-	蔡 正国、塩野 毅 81
	層状粘土鉱物層間に固定化した後周期遷移金属錯体によるエチレンの重合	黒川 秀樹 85
小論の広場		90

第4部 新機能性ポリマーの合成		
Ni, Pd 触媒を用いたオレフィンの異性化重合	小坂田耕太郎、竹内 大介	92
高分子反応法による嵩高い炭化水素基含有ポリマーの 合成とその性質	豊田 昭徳、吉川悠以子 高野 一史、斎藤 拓	96
精密熱分解を基盤としたポリオレフィンの高機能化	澤口 孝志	103
官能基/極性セグメントの導入によるポリオレフィンの高機能化 ..	松木 智昭、寺尾 浩志 岩下 曉彦、金子 英之	107
オレフィン重合触媒の新潮流	野村 琴広	113
-高性能バナジウム錯体触媒の設計・創製-		
第5部 新材料と物性改質		
大面積フィルムの単結晶化への挑戦	表 研次、大東 弘二	118
-強誘電性高分子単結晶状フィルムの紹介-		
ポリプロピレンの立体規則性と形状回復現象	秋山 正毅、堀田 篤	126
ポリシラン添加によるポリオレフィン材料の融着特性	徳満 勝久	131
熱・放射線劣化架橋ポリエチレンケーブルの化学発光特性 ..	栗原 隆史、高橋 俊裕 水谷 嘉伸、本間 宏也 岡本 達希	136
第6部 成形加工とアプリケーション		
文具事務用品・日用品が期待するポリオレフィン材料	牧野 智成	142
医療における高分子材料の進展	大西 誠人	146
高機能性フィルム-包装用フィルムを中心として-	武石 一路	152
長繊維GFPPによる自動車部品軽量化への取り組み	合田 宏史	156
CAE を用いたPBS/PP 多層射出成形品の界面密着	藤原 幹彦、青木 直也 吉田 利宏、小滝 雅也	158
強度予測手法		
Z軸延伸用PPの延伸性解析と樹脂設計	田村 聡、倉本 格 金井 俊孝	164
第7部 統計と調査		
ポリオレフィン関連統計まとめ	郷 茂夫	168
お知らせ	郷 茂夫	205
編集後記	編集部	206
研究会運営委員	編集部	207